

育友会支部懇談会

全国65会場で開催 ご父母ら2700人参加—「大学が身近な存在に」

大学とご父母との貴重なコミュニケーションの場である育友会の支部懇談会が、7月から9月にかけて全国68支部65会場で開催され、約2700人のご父母らが参加した。48回目となる今回は小川恵三会長が浜松、静岡、神田キャンパス（東京A・B・C合同）、生田キャンパス（神奈川県東・西合同）、出牛正芳理事長が沖縄、山形、宮城、日高義博学長が新潟、長岡、生田キャンパスの各会場に出席したほか教職員約300人が各会場に参加した。大学の近況や就職活動体験談などが披露された。（インタビュー文末のカッコ内はご子女の学部学年・性別）



▲神田キャンパス会場であいさつする小川育友会長



▲講演する日高学長（生田キャンパス会場）

【東京A・B・C支部合同】

●田中 道子さん

神奈川県在住ですが、法学部に学び、「ハマコーさん（浜田幸一さん）の講演を聴きたい」と言う娘を引っ張って、神田キャンパス会場の懇談会に参加しました。大学の皆さん方のお話から専修大学を知る良い機会となりました。

個人面談にも娘と一緒に出席、進路についてお伺いしました。就職についてはまだ漠然としており、「一般企業に勤めたい」くらいのイメージしかわいていないようです。こんな娘を刺激し、先生方のお話から小さなことでもいいのでヒントになるようなことや「情報源」を得てほしいと思います。（法3・女子）

●鈴木 和子さん

「来てよかった」というのが偽らざる実感。1年次生なのでこういった会合に出席するのはまだ早いかなとも思ったのですが、先生方のお話を聞かされたにないチャンスと、思い切って参加しました。特に法学部の梅本吉彦教授の「まずは語学の習得」というお話には、国際経済学科に学び留学希望の本日同伴した娘にしっかり響いたようで、励みになりました。

娘は、発展途上国について興味を持ち、国際的な仕事につきたいと希望しており、その関連のゼミを希望。個人面談では、留学や進路についてアドバイスをいただきました。（経済1・女子）



▲盛況の就職説明会（神田キャンパス会場）



▲小峰直史商学部助教授を囲んでグループ面談（神田キャンパス会場）

【神奈川県東・西支部合同】

●兼松 雅昭・洋子さん

息子は北海道短大からの編入学ですので、新しい環境でキャンパスライフが満足しているのか、親がどういことを心掛けてアドバイスしたら良いのか分からないため、気がかりで参加しました。

本人は多くを語りませんが、勉学にも就職にも積極的にやろうとす



▲キャンパス見学にスタート（生田キャンパス会場）

る心構えが生まれてこないような気がしますので、親としては、自立心を持たせる必要性を感じています。そういう意味で、本日の学長の講演は大変参考になりました。(経済3・男子)

●勝倉 秀雄・美也子さん

1年次のときは単位習得の仕方や、通学負担などが心配で相談に伺いましたが、幸い所定の単位は修得し、成績にも満足しています。通学も向ヶ丘遊園の駅から歩いているようですが、慣れたみたいですよ。

今年は2度目ですが、3年次からのプロジェクトのこと、就職のことなどを相談したくて参加しました。本日のお話で、勉強環境も就職のサポートも万全のようで安心しました。余談ですが自宅でもパソコンばかりしていて、親と話す機会が少ないのですが、大学生活が楽しそうで、何よりです。(ネット情報3・男子)

●橋本 晴美さん

初めて参加しました。単位のことやゼミの選考方法、面接のことなどをお聞きしたくてまいりました。

息子は高校から大学への移行がスムーズに行われていなくて、いまだに目標が定まっていないように見受けられます。個人面談の先生が「大学はカヤックみたいなもので、教えてもらうのではなく、自分で学ぶことです」と言われましたが、正にその通りで、ゼミのことも含め、早速、子供に伝えます。就職のこともご指導が徹底されているようですので安心しました。今日この会に参加して本当に良かったと思います。(経営2・男子)



▲個人面談で心配事を解消。(左は大西勝明教授。生田キャンパス会場)



▲1年次生の合同説明会で大学の概要を紹介(生田キャンパス会場)



▲出牛理事長がグループ面談に参加(宮城支部)

【宮城支部】

●大場 規子さん

マスコミ関係を志望して国際経済学科に入り、室井義雄教授のゼミで「開発途上国経済」を学んでいますが、留学したいというので実情をお聞きに来ました。

娘は「自分が志向する課題に直結した授業内容で、2年次からゼミにも入れ、やりがいがある」と言い、いま張り切っています。クラブは県人会に入って楽しく活動しているようで、安心しています。

懇談会では出牛理事長や先生から、映像を交えて大学の現況、学生生活、サークル活動などのお話を聞き、特に就職状況は求人数の多いことが分かり、安心しました。(経済2・女子)

●浮田 浩吉さん

いつも「ニュース専修」で大学の現況は読んでいますが、先生方から直接お話を聞ける機会はないので出席しました。今日は、大学の紹介ビデオなども見て、先生方が熱心に指導してくださっていることが分かりました。

息子はアパートでの自炊生活をしていますが、自立心を養う上でも、良い経験になると思います。高校時代、スポーツは何もしていませんでしたが、合気道のクラブに入り、友人もできたようです。今回出席してみて、こうした催しは、もっと開かれれば良いなと思いました。来年もぜひ参加しようと思っています。(文1・男子)



▲参加者から活発な質問も…(宮城支部)



▲石川支部にかけつけた馳浩衆議院議員(昭59文)



▲学部別に個人面談(山形支部)

【山形支部】

●金澤 静江さん

就職活動体験談が参考に

息子は会計学科に在籍して菱山淳先生のゼミで学び、簿記1級に



▲石黒祥さん(法4)が就職体験談を披露(茨城南部支)

挑戦中です。懇談会は先生と直接面談できると聞き、3年次になったので進路のことなど相談したいと考え、初めて出席しました。

本人は公認会計士や税理士を目標に、その分野で伝統ある専大を目指したのですが、計修会に入る機会を逸してしまい、迷っているようです。関根孝教授から「方向性を早く決めたほうがいい」という助言をいただきましたので、息子に伝えたいと思います。懇談会では、大学の厚い就職支援体制も知り、それを生かして活動できる環境があることを心強く感じました。(商3・男子)



▲面談中の原田博夫教授(茨城南支部)

●石川 はるみさん

法律学科で国際法を学んでいて、2年次から神田キャンパスに通っているというので、学生生活のことを知りたくて、初めて参加しました。懇談会では、出牛理事長がプロジェクターを使って大学の近況をお話くださり、とても分かりやすかったです。また皆さんと昼食を共にしながら見た「就職活動体験談」のビデオは、とても参考になりました。息子はサークルに入っていないようですが、特に課外活動での実績も、重要な要素と分かったので、何かを始めるよう勧めたいと思います。得るところがたくさんありましたので、来年も出席したいです。(法2・男子)

【茨城県南支部】

●一 鎌田(いちくわた) つた江さん

1年次以来、2回目の出席で、先生方のお話を聞き、「面倒見の良い大学」という印象を受け、信頼感がますます強まりました。

7月の就職懇談会にも参加させていただき、就職活動に関心を持ったのですが、今回は学生の体験談を聞き、実際の活動について詳しく知ることができ、参考になりました。

懇談会でお伺いする内容は子供も知っていることだと思いますが、共通理解を持つことができるのが大きなメリットだと思います。また、地元でアットホームな雰囲気の中、お話を聞くことができる機会は大切だと感じました。(経済3・男子)

●金久保 祐一さん

大学は社会人になるための道の一つで、子供にとって大切な時期だと考えています。親として大学について知っておかなければと考え、初めて出席しました。

中学校や高校のように担任の先生がいるわけではないので、子供自身が意識を持ってやらなければいけないということを改めて感じました。

個人面談では、目標に向けた学習方法や大学のバックアップ体制などを伺いましたが、親として本人のレベルや目標にあったアドバイスをしてあげたいと思います。

息子には、就職活動体験談を話してくれた4年次生のように立派に成長し、卒業してほしいと思いました。(法2・男子)

育友会支部懇談会

全国65開場で開催 ご父母ら2700人参加—「大学が身近な存在に」

貴重なご意見を電子メールでいただきました

東京A・B・C支部合同 経済1女子の母

出席のつもりではなかったのですが、国際経済学科に学んでいる娘の授業のことについてかねがねお聞きしたいと思っておりましたので、参加しました。ある語学の科目のレベルに不満を持っており、改善できないかと当日参加の経済の先生にお聞きしたところ、丁寧に答えていただき、もやもやしたものが吹っ切れました。全体会での先生方のお話も分かりやすく、大学を非常に身近に感じました。

娘は長期留学を目指しており、ボランティア活動をしたり、奨学金について情報を得たりと準備を進めています。

東京A・B・C支部合同 経済2男子の母

昨年初めて参加し、今まで知らなかった情報を得て大いに刺激を受け、翌年もぜひ参加をと思っていました。今年も貴重な就職情報をお聞きしましたし、先生方の気さくな人柄に接して感激しました。特にハマコーさんの講演はインパクトが強かったです。

支部懇談会は、大学と父母をつなぐ大切な機会。出席者同士が初対面でもすぐ打ち解け合うアットホームな会合だと思います。

もし、まだこの会合を知らない方や出席をためらっている方がいらしたら、ぜひ参加したらとお勧めしたいです。

育友会支部懇談会

全国65開場で開催 ご父母ら2700人参加—「大学が身近な存在に」

身近で大きな“応援団”に

小川 恵三育友会長

全国の支部懇談会は、本年度も盛会のうちに終わることができました。懇談会の内容が年々充実する中で、熱心なご父母を多数お迎えしました。これも全国の支部長をはじめとする役員の皆様方のご尽力の賜物と、心から感謝申し上げます。

懇談会に参加していつも感じることは、ご父母の皆様の並々ならぬエネルギーです。ご子女の成長を考える中で、専修大学を盛り上げていこうという意気込みが感じられます。衆知を集め、そのエネルギーと組織力が活用されれば、大学の発展に大きな貢献をなすことができると確信します。具体的に何をするか。今後、検討を重ねていきたいと思えます。

育友会は専修大学の最も身近な応援団。ご父母にはご子女の卒業後も継続した関係を保っていただきたいと切望します。応援団員が多ければ多いほど、大きな力になるはずです。

